

14ひきのねずみの世界

R8.1.14

ねずみのお家の中は・・・

4月から『14ひきのねずみシリーズ』の絵本に親しんできました。絵本を繰り返し見ているうちに「2階と3階にベッドがある」「テーブルはこんな形」といろいろなことに気づき、みんなで必要な物を準備しながら、お家を作っていました。

台所では、ドングリや松ぼっくりを使って料理をしたり、隣の部屋では「フカフカの方があったかい」と毛糸を巻いた枕と新聞紙を入れた布団で気持ち良さそうに寝ています。また、お風呂もあり「1、2、3…」と数を数えたり、シャワーを使って頭からかける姿もあります。湯上りにはしっかりタオルで身体も拭いていますよ。

そんなふうに家の中で過ごした後は「じゃあ、今度はお外に遊びに行こう!」と言いながら、広場に出て行く子どもたちです。

「おそとにあそびにいこう!」

広場にはピクニックに出かけた『野原』や洗濯をした『川』、また、お月見をした高い『木』などがあります。お花のトンネルをくぐったり、川に落ちないようにジャンプしたり渡ったり、洗濯板に乗ったカエルを引いて楽しむ姿、またタライを使って洗濯する姿もありますよ。高い木には、手伝ってもらうのではなく自分の力で上ろうと挑戦しています。

外でめいっぱい体を使って遊んだ後は「あ〜、疲れた。お家に帰ってご飯食べよう」「汗かいたからお風呂に入ろう」などと言って、またお家に帰る姿があり、外と中を往復して楽しんでいます。

ねずみの世界に入りながらも、一人一人の生活の様子も感じることができて、いろいろな場で楽しんでいるところです。

